【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	伊万里市立山代西小学校

1　前年度 評価結果の概要	・全体的な評価結果として、Aの評価をいただけて、教育目標を達成することができたと思う。また、山代西小の合言葉としての～『あい』でつながる山代西～という学校目標が、保護者・児童へ浸透しているということがアンケートの結果からうかがえた。今年度は、山代西小最後の年である。様々な教育活動を通して、『あい』をさらに深め、山代西小の歴史を刻んでいくことを目標として取り組んでいく。 ・昨年度の校内研は、「自分の思いや考えをもち、進んで表現できる児童の育成」を目指してきた。自分の思いや考えを表現するということに関して、初めての場での発言では消極的である。統合も踏まえて、山代東小との交流体験活動やふるさと学習での体験活動等「もの・人・こと」との交流活動のあり方を研究の中心として、自ら進んで交流し、よりよい人間関係を築く児童の育成を目指したい。また、今年度は学習した内容を地域等へ発信する等表現する力をさらに身に付けさせたいと考える。
2　学校教育目標	**感謝の心を大切にし、自ら学び・行動する人間性豊かな児童の育成** **～『あい』を深め、刻む山代西～**
3　本年度の重点目標	○　**「ありがとう」と言える心を育てる（豊かな心）** ○　**健康的な生活の実践意欲を育てる（健やかな体）** ○　**実態に合う指導で学ぶ意欲を育てる（学力の向上）**

4　重点取組内容・成果指標　　**中間評価**　　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○授業で、児童が課題を発見し、交流し、振り返る時間を設けることで、児童が自ら学習に取り組む態度を育成する。	○「目標を持って授業に取り組むことができた」と思える児童の割合を80%以上にする。 ○「授業で友達との交流を積極的に行うことができた」と思える児童の割合を80%以上にする。	・問題解決学習・西郷型授業を取り入れた授業を実践する。 ・「佐代川タイム」で、積極的に自分を表現したり、友達と交流したりしようとする態度を育成する。 ・「RSタイム」を実施し、文を正しく読み取り、自分なりの言葉で答えようとする力を育成する。		・		・		・	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○様々な資料等を活用し、心の教育に積極的に取り組んでいると答える保護者を80%以上にする。	・「いのちの教育」指導資料を活用して道徳年間計画を作成し、道徳の授業の実践を行う。 ・保護者へ「ふれあい道徳」の案内を出すことで関心を高め、家庭と学校が協力しての心の教育に向かうことができるようにする。		・		・		・	・道徳教育推進担当者 ・人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「月のこころ」アンケート」で、「学校が楽しい」と答える児童が90%以上になるようにする。	・毎月末に「月のこころ」アンケートを実施し、児童の心の状態の把握に努める。 ・職員連絡会（週１回）で生徒指導について話す場を設定し、共通理解を図る。		・		・		・	・生活部 ・教育相談担当者
	●児童が自分の良さに気付き、目標をもって意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生や友達からほめられることがある」と思う児童を80%以上にする。 ●振り返りに「がんばったことや自分の成長、今後の課題」を記述できる児童を80%以上にする。	・様々な教育活動を通して、お互いの良さや頑張りを認め合う機会をつくる。 ・努力することの大切さを感じ取らせるために、学習や体験活動、行事への取組等において学びの振り返りを行う。		・		・		・	・総務 ・教務主任 ・各教科主任
	○豊かな心を育み、心の居場所となる図書館教育、読書活動の推進	○年間多読賞の該当児童を80%以上にする。	・おすすめの本カードや新刊図書、言語活動での作品のコーナーを設置し、読書への関心を高める。 ・家読リレーの実施により、家庭での読書を促し、本を通した交流を図る。		・		・		・	・文化部 ・図書主任
●健康・体つくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	○児童の生活事故による災害給付に係わる事案発生を昨年より減少させる。 ○児童の交通事故を0（ゼロ）にする。 ○児童に危険意識をつけさせる。	・運動場の遊具でのけがを減らすために、運動場での遊び方の指導を行う。 ・校外に出て活動を行う際は、事前指導を行い、危険を予知できるようにする。 ・交通安全教室への伊万里警察署生活安全課から、道路歩行や自転車の整備・乗り方についての講話をいただく。 ・自転車点検表を配布・回収し、各家庭での自転車安全利用のための啓発を行う。 ・長期休業の前に、規則正しい生活について、家庭へのプリント配布による啓発と児童への指導を行う。 ・地区児童会にて、児童より危険個所の聞き取りを行う。		・		・		・	・保体部 ・生活部
	○食育の充実	○栄養バランスを考え、好き嫌いせずに食べることを実践しようとしている児童を80%以上にする。	・給食時間ややまびこ広場において、バランスのよい食事のとり方について指導を行う。 ・保健だよりと給食だよりを活用し、家庭でのバランスを考えた食事内容について協力を呼びかける。		・		・		・	・保健主事 ・食育推進担当者
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日を週に1日設定し、確実に取り組むよう、呼びかけていく。 ・見通しをもって早くから取り組むなど、タイムマネジメントの意識化を図る。 ・学年毎で使用するデータの共有化を図る。 ・年休を取りやすい雰囲気をつくる。		・		・		・	・総務
●特別支援教育の充実	○校内における特別支援教育の推進 ○通常学級在籍児童及び学級担任への支援	○専門性が高まったと思える教職員80%以上にする。	・外部講師による研修会を年に1回開催する。 ・必要に応じてSC・SSWと連携を図りながらケース会議・担任との懇談、取り出し支援、専門家派遣を行う。 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・実施・評価を呼びかける。		・		・		・	・特別支援教育コーディネーター ・各担任

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 （数値目標）		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言	
○特色ある学校づくり	○交流活動（学校行事、特別活動、ふるさと学習等）の充実	○校区内の「人、自然、もの、行事」に愛着をもち、これからも大切にしていきたいと思う児童を90%以上にする。 ○たくさんの体験活動をして、有意義だったと感じる児童を85%以上にする。 ○統合に向けて、不安を感じないと思う児童を90%以上にする。	・社会科や生活科、総合的な学習の時間等と関連付けながら、地域の方々との交流や体験活動を積極的に行い、学習内容の充実を図る。 ・県やその他の事業に積極的に応募し、体験の幅を広げる。 ・山代東小との交流体験活動を計画的に行い、児童の統合に向けた不安感を払しょくする。		・		・		・	・総務 ・各教科主任
○危機管理	○情報モラルの指導	○情報モラルについて、インターネット上の危険やSNSの適切な使い方を十分に理解できている児童を85%以上にする。	・アンケートを実施し、児童のインターネット機器や環境についての実態を把握する。その結果を基に指導内容の精選を行い、学期に1回以上の指導または資料配布を実施する。		・		・		・	・情報教育担当者

●・・・県共通　○・・・学校独自　◎・・・志と誇りを高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・